

都市再生整備計画 モニタリングシート
湊酒田中心市街地地区(第2期)

平成29年3月

山形県酒田市

様式3 評価結果のまとめ

都道府県名	山形県	市町村名	酒田市	地区名	湊酒田中心市街地地区(第2期)			面積	116.3 ha
交付期間	平成27年度～平成31年度	事後評価実施時期	平成31年度	モニタリング実施時期	平成29年3月	交付対象事業費	762百万円	国費率	0.427

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施済み、実施中、実施予定の事業		事業名		事業進捗の状況(順調か、遅れているか)	
	当初計画から削除した事業	基幹事業	【公園】日和山公園環境整備事業 / 【地域生活基盤施設】山居倉庫周辺整備事業、街なかサイン整備事業 / 【高質空間形成施設】中町モール改修事業、日和山周辺地区環境整備事業 / 【既存建造物活用事業】中町庁舎改修事業		山居倉庫周辺整備事業は、周辺エリアと連携した機能の在り方を検討中であるため、事業の進捗が遅れている。	
		提案事業	【地域創造支援事業】酒田駅発観光まちあるき事業、旧割烹小幡改修事業、山居倉庫ライトアップ事業 / 【事業活用調査】事業効果調査【まちづくり活動推進事業】中心市街地循環バス運行事業		旧割烹小幡改修事業は、建物の老朽化が著しく、早急な安全対策調査が必要な状況であることから、事業の進捗が遅れている。	
	新たに追加した事業	基幹事業	なし	—	—	
		提案事業	【まちづくり活動推進事業】中心市街地循環バス運行事業		・事業を実施したものの、計画区域外における運行経路割合が一定の水準を超えたことにより、補助対象外となったため、計画から削除。 ・事業自体は実施しているため、目標、指標、数値目標への影響なし。	
交付期間の変更	当初	平成27年度～平成31年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	—		

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		モニタリング		目標達成見込み		総合所見	今後の対応方針		
	単位	基準年度	目標年度	計測年度	あり	なし								
指標1	歩行者・自転車通行量(平日)	人/日	2,718	H26	2,779	H31	2,293	H28	あり	●	・事業中のものが多く、効果は発現していない。 ・従前値よりも悪化している状況となっており、計画変更して新規事業を追加するなどの見直しを行った。	・官民それぞれが行っているにぎわい創出事業の連携を深化させ、来街機会の増加や回遊性、滞留性の向上を図る。		
									なし	○				
									あり	●			・事業中のものが多く、効果は発現していない。 ・空き店舗を活用した新規開業が一定数あることにより、悪化傾向に歯止めがかかっている。	・中心商店街の魅力向上、商業地としての求心力向上を図り、新規開業を促進する。
									なし	○				
指標2	商店街空き店舗数	件/年	99	H26	83	H31	100	H28	あり	●	・山居倉庫ライトアップ事業が完了し、観光施設の夜間景観向上に寄与している。 ・従前値に比べ、実績値が改善している。	・完了した事業を活用し、波及効果を高める取り組みによって、目標達成を目指す。 ・計画事業の実施により、観光施設の魅力向上や回遊性向上による入込数の増加を図る。		
									なし	○				
									あり	●			・事業中のものが多く、効果は発現していない。 ・新規に稼働した施設の実績が加わったことにより、従前値に比べて実績値が改善している。	・今後、新たに稼働する施設の効果が十分に発揮されるよう取り組む。 ・各事業間の連携を図り、相乗効果を高める取り組みによって目標達成を目指す。
									なし	○				
指標3	観光施設入込数	人/年	1,571,285	H25	1,648,000	H31	1,594,380	H27	あり	●	・事業中のものが多く、効果は発現していない。 ・従前値に比べ、実績値が改善している。	・事業中のものが多く、効果は発現していない。 ・従前値よりも悪化している状況となっており、計画変更して新規事業を追加するなどの見直しを行った。		
									なし	○				
									あり	●			・事業中のものが多く、効果は発現していない。 ・従前値よりも悪化している状況となっており、計画変更して新規事業を追加するなどの見直しを行った。	・官民それぞれが行っているにぎわい創出事業の連携を深化させ、来街機会の増加や回遊性、滞留性の向上を図る。
									なし	○				
指標4	公共・公益施設利用者数(平日)	人/日	363	H25	953	H31	425	H28	あり	●	・事業中のものが多く、効果は発現していない。 ・従前値よりも悪化している状況となっており、計画変更して新規事業を追加するなどの見直しを行った。	・事業中のものが多く、効果は発現していない。 ・従前値よりも悪化している状況となっており、計画変更して新規事業を追加するなどの見直しを行った。		
									なし	○				
									あり	●			・事業中のものが多く、効果は発現していない。 ・従前値よりも悪化している状況となっており、計画変更して新規事業を追加するなどの見直しを行った。	・官民それぞれが行っているにぎわい創出事業の連携を深化させ、来街機会の増加や回遊性、滞留性の向上を図る。
									なし	○				

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		モニタリング		目標達成見込み		総合所見	今後の対応方針
	単位	基準年度	目標年度	計測年度	あり	なし						
その他の数値指標1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の数値指標2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

4)定性的な効果発現状況
 ・山居倉庫ライトアップ事業では、北前船の往来で栄えた湊まち酒田のシンボルである山居倉庫群を通年にわたってライトアップしており、夜の観光名所として新たな魅力を創出している。四季折々の景観に浮び上がる山居倉庫の趣きある佇まいは、市民や観光客の好評を得ている。

		実施内容	実施状況		今後の対応方針等	
5) 実施過程の評価	モニタリング	・ 目標指標の動向について、モニタリング調査を毎年実施。	都市再生整備計画に記載し、実施できた		・ 引き続き、目標指標の動向についてモニタリング調査を実施する。	
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●		
	住民参加プロセス	・ 中心市街地活性化協議会を毎年開催。 ・ 山居倉庫周辺整備事業に関するものとして、具体的な整備内容策定の市民アンケートを実施(H28年度)。 ・ 日和山周辺地区環境整備事業に関するものとして、日和山地区の景観形成に関する市民ワークショップ、市民アンケートを実施(H28年度)。 ・ 旧割烹小幡改修事業に関するものとして、具体的な整備内容策定のための市民ワークショップを実施(H28年度)。	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	・ 中心市街地活性化協議会の開催については、官民が連携して取り組んでいくための協議の場として、今後も継続して開催していく。 ・ 各事業の実施にあたっては、市民ワークショップや市民アンケート等による意見を参考にし、市民の参加と愛着の醸成を高めるよう展開していく。	
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●		
	モニタリング時点では実施していない					
	持続的なまちづくり体制の構築	・ 中心市街地活性化協議会を毎年開催。	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	・ 中心市街地活性化協議会の開催については、官民が連携して取り組んでいくための協議の場として、今後も継続して開催していく。	
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				
		モニタリング時点では実施していない				
6) モニタリングの所見	総合所見	順調	●	<ul style="list-style-type: none"> 一部、進捗が遅れている事業があるものの、市民意見を確認しながら事業を行っている。 悪化している目標指標があるため、新規事業の追加をはじめとした所要の計画変更を行った。 目標達成に向け、事業間の連携を意識して取り組んでいく。 	今後の事業の改善点	<ul style="list-style-type: none"> 山居倉庫周辺エリアをキーとした拠点エリア間の連携強化やまちづくりの在り方検討 中町庁舎改修事業に関する事業内容の精査 旧割烹小幡改修事業に関し、早急な安全対策調査の実施と今後の在り方検討
		要改善				

都市再生整備計画 モニタリングシート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 効果発現要因の整理

(4) モニタリングの所見

- 添付様式5-① まちの課題の変化
- 添付様式5-② 総合所見・今後の事業の改善点

(5) モニタリング原案の公表

- 添付様式6 モニタリング原案の公表

(6) 有識者からの意見聴取

- 添付様式7 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他()		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業											
事業	事業箇所名	当初計画		モニタリング時		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する 指標、数値目標等への影響	モニタリング時の状況			今後の事業見込み
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			未着手	事業中	完成	
公園	日和山公園環境整備事業	125.0	ひょうたん池部分の整備(約3,300㎡)	125.0	ひょうたん池部分の整備(約3,300㎡)	なし	—		●		H30年度完成予定
地域生活基盤施設	山居倉庫周辺整備事業	150.0	旧高校跡地等の整備(約8,000㎡)	150.0	旧高校跡地等の整備(約8,000㎡)	なし	—	●			関連事業である都市計画道路豊里十里塚線の進捗もあり、事業内容の検討が必要。
	街なかサイン整備事業	23.0	情報板、歩道路面プレート の整備	23.0	情報板(23基)の整備	平成28年度に計画変更 回遊性向上のための事業内容の 変更	影響なし(サインによる案内表示の在り 方に関する変更のみであるため)	●			H30年度完成予定
高質空間形成施設	中町モール改修事業	54.0	路面整備等によるリ ニューアル改修(100m)	54.0	路面整備等によるリ ニューアル改修(100m)	平成28年度に計画変更 目標指標の改善措置として、路面 整備のほか、防風対策、親水施 設、植樹、植樹柵、車止めの導入	「歩行者・自転車通行量」に影響する。 ただし、悪化している目標指標を改善 し、当初目標を達成するため変更である ため、目標値の設定は変更しない。		●		H29年度完成予定
	日和山周辺地区環境整備事業	77.0	道路の石畳風美装化改 修(444m)	77.0	道路の石畳風美装化改 修(445m)	平成28年度に計画変更 回遊性向上のための整備路線の 変更	影響なし(整備路線を1区画分ずらして 付け替えるのみの変更であるため)	●			H31年度完成予定
既存建造物活用事業	中町庁舎改修事業	40.0	空き庁舎を活用した交流 施設の整備	40.0	空き庁舎を活用した交流 施設の整備	なし	—	●			空き庁舎となった後の利活用 方針について、施設の利用 状況を踏まえた検討が 必要。

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業											
事業	細項目	当初計画		モニタリング時		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する 指標、数値目標等への影響	モニタリング時の状況			今後の事業見込み
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			未着手	事業中	完成	
地域創造 支援事業	酒田駅観光光まちあるき事業	3.0	酒田駅周辺における観 光案内看板、情報端末 の設置	3.0	酒田駅周辺における観 光案内看板、情報端末 の設置	なし	—	●			H31年度完成予定
	旧割烹小幡改修事業	76.0	歴史・文化的建物を活用 した観光施設の整備	76.0	歴史・文化的建物を活用 した観光施設の整備	なし	—	●			建物の老朽化が著しく、早 急な安全対策調査と今後 の在り方検討が必要。
	山居倉庫ライトアップ事業	10.0	観光拠点施設のライト アップ	10.0	観光拠点施設のライト アップ	なし	—			●	H28年度完了 (H27年度事業の繰越)
	中町モール大屋根整備事業	—	—	150.0	中町モール改修事業と 運動した大屋根の整備	平成28年度に計画変更して追加 (目標指標の改善措置として、中町 モールに天蓋を設置)	「歩行者・自転車通行量」に影響する。 ただし、悪化している目標指標を改善 し、当初目標を達成するため変更である ため、目標値の設定は変更しない。	●			H29年度完成予定
事業活用調査	事業効果調査	3.0	事業実施の効果に関する 調査	3.0	事業実施の効果に関する 調査	なし	—	●			H31年度完了予定
まちづくり 活動推進事業	中心市街地循環バス運行事業	18.4	社会実験としての循環バ スの運行	—	—	平成28年度に計画変更して削除 (計画区域外を一定の割合を越え て運行し、対象外となったため)	影響なし(市の単独事業で実施済みの ため)			●	H27年度で終了

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	モニタリ ング時	当初計画	モニタリ ング時		
暮らし・にぎわい再生事業 (酒田市中心市街地地区)		中心市街地地区	293.0	293.0	平成25年～平成29年	平成25年～平成29年	事業中 (平成29年度完了予定)	
基本計画等作成等業務 (酒田駅前地区)		駅前地区	21.0	21.0	平成26年～平成27年	平成26年～平成27年	完了 (平成27年度完了)	
都市計画道路豊里十里塚線街路事業			8,678.0	9,000.0	平成9年～平成27年	平成9年～平成32年	事業中 (平成32年度完了予定)	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法とモニタリング値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値(ア)		従前値(イ)		目標値(ウ)		モニタリング(エ)		現段階での目標達成見込み		総合所見	今後の方針
			基準年度		基準年度	基準年度	目標年度	実施年度	あり	なし				
指標1	歩行者・自転車通行量(平日)	人/日	中心市街地内の3地点における歩行者、自転車通行量とし、平日12時間(4月第4火曜日、7~19時)の目標による観測値とする。	-	-	2,718	H26	2,779	H31	2,293	H28	●	完了事業が少ないため、効果が発現していないが、従前値よりも悪化している。	中町モールのリニューアル改修で魅力的な都市空間を再構築し、周辺のにぎわい施設と連携して回遊性や滞留性の向上を図る。
指標2	商店街空き店舗数	件/年	中心市街地内の主要5商店街における空き店舗数とし、8月に中心市街地まちづくり推進センターが実施する調査値とする。	-	-	99	H26	83	H31	100	H28	●	完了事業が少ないため、効果が発現していない。	中心市街地内で実施している他の事業を含め、商業環境の改善に関するPRに努め、新規開業を促進する。
指標3	観光施設入込数	人/年	中心市街地内の15施設における入込数とし、観光振興課が集約する1年間の実績値とする。	-	-	1,571,285	H25	1,648,000	H31	1,594,380	H27	●	完了事業が少ないものの、従前値より増加している。	完了事業を活用する施策を展開すると共に、未着手事業の実施によって観光施設の魅力向上を図り、相乗効果による目標達成を目指す。
指標4	公共・公益施設利用者(平日)	人/日	中心市街地内の5施設における利用者数とし、各施設における平日(9月第2火曜日)の実績値とする。	-	-	363	H25	953	H31	425	H28	●	新たに稼動した施設の実績値が増加されたため、従前値よりも増加している。	今後も、新たに稼動する施設があるため、これらと既存施設との連携を図り、それぞれの魅力向上や効果的な活用を促すことで目標達成を目指す。

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法とモニタリング値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値(ア)		従前値(イ)		目標値(ウ)		モニタリング(エ)		本指標を取り上げる理由	総合所見	今後の方針
			基準年度		基準年度	基準年度	目標年度	実施年度					
その他の数値指標1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の数値指標2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

・山居倉庫ライトアップ事業では、北前船の往来で栄えた湊まち酒田のシンボルである山居倉庫群を通年にわたってライトアップしており、夜の観光名所として新たな魅力を創出している。四季折々の景観に浮び上がる山居倉庫の趣きある佇まいは、市民や観光客の好評を得ている。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
目標指標の動向について、モニタリング調査を毎年実施。	<p>予定どおり実施した ●</p> <p>予定はなかったが実施した</p>	<p>【実施頻度】毎年度</p> <p>【実施時期】平成27～28年度</p> <p>【実施結果】目標指標の動向把握により、目標達成に向けた取り組みの在り方や計画変更の検討に繋がった。</p>	今後も継続して調査を実施する。

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
酒田市中心市街地活性化協議会の開催	<p>予定どおり実施した ●</p> <p>予定はなかったが実施した</p> <p>モニタリング時点では実施していない</p>	<p>【実施頻度】年1回以上</p> <p>【実施時期】平成27～28年度</p> <p>【実施結果】酒田市中心市街地活性化基本計画の実施状況や計画変更について協議を行い、活性化の取り組みについて意見交換を行った。</p>	今後も継続して開催し、中心市街地の活性化に向けた取り組みを推進していく。
山居倉庫周辺整備事業に関するものとして、具体的な整備内容策定のための市民アンケートを実施	<p>予定どおり実施した ●</p> <p>予定はなかったが実施した</p> <p>モニタリング時点では実施していない</p>	<p>【実施頻度】1回</p> <p>【実施時期】平成28年度</p> <p>【実施結果】未利用地活用の方向性や導入機能等に関する市民意見を把握し、検討の基礎資料とした。</p>	具体的な整備内容策定のための検討を進めていく。
日和山周辺地区環境整備事業に関するものとして、日和山地区の景観形成に関する市民ワークショップ、市民アンケートを実施	<p>予定どおり実施した ●</p> <p>予定はなかったが実施した</p> <p>モニタリング時点では実施していない</p>	<p>【実施頻度】1回</p> <p>【実施時期】平成28年度</p> <p>【実施結果】当該地区の在り方に関する市民意見を把握し、事業実施のための基礎資料とした。</p>	当該地区の景観形成施策と連携し、事業効果を高める取り組みを進めていく。
旧割烹小幡改修事業に関するものとして、具体的な整備内容策定のための市民ワークショップを実施	<p>予定どおり実施した ●</p> <p>予定はなかったが実施した</p> <p>モニタリング時点では実施していない</p>	<p>【実施頻度】1回</p> <p>【実施時期】平成28年度</p> <p>【実施結果】具体的な整備内容策定のための市民意見を把握し、検討の基礎資料とした。</p>	今後の在り方についての検討を進めていく。

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名・組織の概要	
酒田市中心市街地活性化協議会	<p>予定どおり実施した ●</p> <p>予定はなかったが実施した</p> <p>モニタリング時点では実施していない</p>	<p>酒田市中心市街地活性化基本計画の実施状況や計画変更について協議を行い、活性化の取り組みについて意見交換を行った。</p>	酒田市中心市街地活性化協議会	今後も継続して開催し、中心市街地の活性化に向けた取り組みを推進していく。

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
中心市街地活性化基本計画推進のための庁内ワーキンググループ会議	庁内11課の担当職員 (都市デザイン課、財政課、政策推進課、土木課、建築課、農政課、商工港湾課、観光振興課、健康課、まちづくり推進課、社会教育文化課)	年2回程度 平成27年6月4日、平成28年1月19日、 平成28年6月6日、平成28年12月26日	都市デザイン課 (中心市街地活性化基本計画、都市再生整備計画担当課)

添付様式4-② 効果発現要因の整理

指標の種類別		指標1		指標2		指標3		指標4	
指標名		歩行者・自転車通行量(平日)		商店街空き店舗数		観光施設入込数		公共・公益施設利用者数(平日)	
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	【公園】日和山公園環境整備事業	—	・ 事業中のものが多い。効果は発現していない。 ・ 従前値よりも悪化している状況となっており、計画変更して新規事業を追加するなどの見直しを行った。	—	・ 事業中のものが多い。効果は発現していない。 ・ 空き店舗を活用した新規開業が一定数あることにより、悪化傾向に歯止めがかかっている。	—	・ 山居倉庫ライトアップ事業が完了し、観光施設の夜間景観向上に寄与している。 ・ 従前値に比べ、実績値が改善している。	—	・ 事業中のものが多い。効果が加わったことにより、従前値に比べて実績値が改善している。
	【地域生活基盤施設】山居倉庫周辺整備事業	—							
	【地域生活基盤施設】街なかサイン整備事業	—							
	【高質空間形成施設】中町モール改修事業	—							
	【高質空間形成施設】日和山周辺地区環境整備事業	—							
提案事業	【既存建造物活用事業】中町庁舎改修事業	—		—		—		—	
	【地域創造支援事業】酒田駅発観光まちあるき事業	—							
	【地域創造支援事業】旧割烹小幡改修事業	—							
	【地域創造支援事業】山居倉庫ライトアップ事業	—							
	【地域創造支援事業】中町モール大屋根整備事業	—							
関連事業	【事業活用調査】事業効果調査	—		—		—		—	
	【まちづくり活動推進事業】中心市街地循環バス事業	×							
	暮らし・にぎわい再生事業(酒田市中心市街地地区)	—							
	基本計画等作成等事業(酒田市駅前地区)	—							
	都市計画道路豊里十里塚線街路事業	—		—		—		—	

※指標改善への貢献度

- ◎: 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献している。
 - : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献している。
 - △: 完成直後又は事業開始直後のため、効果の発揮に至っていない。
 - ×: 事業が完成したが、期待通りの効果を発揮していない。
 - : 評価できない。
- 〔 未着手又は事業中のため評価できない。事業と指標との関係がないので評価できない。 〕

今後の方針等	・ 官民それぞれが行っているにぎわい創出事業の連携を深化させ、来街機会の増加や回遊性、滞留性の向上を図る。	・ 中心商店街の魅力向上、商業地としての求心力向上を図り、新規開業を促進する。	・ 完了した事業を活用し、波及効果を高める取り組みによって、目標達成を目指す。 ・ 計画事業の実施により、観光施設の魅力向上や回遊性向上による入込数の増加を図る。	・ 今後、新たに移動する施設の効果が発揮されるよう取り組む。 ・ 各事業間の連携を図り、相乗効果を高める取り組みによって目標達成を目指す。
--------	---	---	--	--

(4) モニタリングの所見

添付様式5-① まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	モニタリングの時点で達成されたこと (課題の改善状況)	交付期間中に解決すべき 残された課題	交付期間中に発生した 新たな課題
中心商店街の活性化が不十分であり、人口減少、少子高齢化が進む中、賑わいの創出が課題である。	・ 民間によるにぎわい創出がなされており、従来になかった業態店舗の開業、新しいイベントなど魅力ある商業活動が行われている。	・ 事業中または未着手となっている計画事業を実施し、目標達成を意識した事業展開を図る。	
中心市街地内の観光施設、拠点施設間の回遊性が不十分であり、これを向上させる施策が課題である。	・ 社会実験として、主に中心市街地内の観光施設等を循環するバスを運行した。 ・ 市営バスの路線図を示した新しいタイプの携帯型バスマップを作成、配布し、回遊性向上のために活用している。	・ 事業中または未着手となっている計画事業を実施し、目標達成を意識した事業展開を図る。 ・ 完了した事業を活かし、波及効果を高める取り組みによって、目標達成を目指す。	・ 目標指標の実績値が従前値よりも悪化していることから、これを改善し、目標達成に向けて取り組んでいく必要がある。このため、官民が実施しているにぎわい創出事業との連携を深めるとともに、回遊し、滞留したくなる都市環境の構築を目指す。 ・ 旧割烹小幡改修事業に関連し、建物の老朽化が著しいため、早急な安全対策調査の実施が必要となっている。
中心市街地内の人口と世帯数の減少が進み、地域活力が減退しているため、持続可能な活力あるまちづくりを図る施策が課題である。	・ 事業実施にあたって市民アンケートやワークショップを開催するなどし、市民との協働を意識した取り組みを行っている。	・ 事業中または未着手となっている計画事業を実施し、目標達成を意識した事業展開を図る。 ・ 完了した事業や整備した施設を活用し、市民交流の推進やシビックプライドの醸成を図る。	・ 「北前船」による文化や地域特性に基づいた交流のある11自治体が連携し、文化庁が認定する日本遺産の登録に向けた活動を展開している。このため、その歴史的ストーリーの魅力を発信するための方針に合致したまちづくりや施策を検討する必要が生じている。
駅周辺地区、山居倉庫周辺地区の魅力を高めるための施策が不十分であり、都市機能の魅力向上を図る施策が課題である。	・ 酒田駅前地区第一種市街地再開発事業に取り組んでおり、駅周辺地区の魅力向上、にぎわい創出に向けて取り組んでいる。	・ 山居倉庫周辺整備事業に関する具体的な整備内容を策定し、山居倉庫を活かした観光拠点としての魅力向上、都市機能の向上、拠点エリア同士の連携強化を図る。	

添付様式5-② 総合所見・今後の事業の改善点

総合所見		今後の事業の改善点	
		具体的項目	内容
順調	●	拠点エリア間の連携強化を意識したまちづくりの在り方の検討	本市で最大の観光拠点である山居倉庫周辺エリアの整備の在り方や、都市機能が集積する中町エリアとの回遊性向上について検討する。
計画・事業の進め方の改善が必要		—	—
<ul style="list-style-type: none"> 一部、進捗が遅れている事業があるものの、市民意見を確認しながら事業を行っている。 悪化している目標指標があるため、新規事業の追加をはじめとした所要の計画変更を行った。 目標達成に向け、事業間の連携を意識して取り組んでいく。 	都市再生整備計画の見直しの必要性	【地域生活基盤施設】山居倉庫周辺整備事業の見直し	関連事業である都市計画道路豊里十里塚線の進捗もあり、山居倉庫への動線や観光拠点エリアとしての在り方を検討する必要がある。
		【既存建造物活用事業】中町庁舎改修事業の見直し	空き庁舎となった後の利活用方針について、施設の利用状況を踏まえた検討が必要である。
		【地域創造支援事業】旧割烹小幡改修事業の見直し	建物の老朽化が著しいことから、早急な安全対策調査の実施と今後の在り方を検討する必要がある。

(5) モニタリング原案の公表

添付様式6 モニタリング原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	-	-	-	-	-
広報掲載・回覧・個別配布	-	-	-		
説明会・ワークショップ	-	-	-		
その他	-	-	-		
住民の意見	-				

(6) 有識者からの意見聴取

添付様式7 有識者からの意見聴取

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署
-	-	-
-	-	-
有識者の意見	-	

目標

『湊まちルネッサンス(再興)』 - 湊のにぎわいと交流のあるまちづくり -

人口減少・少子高齢化社会の中、歴史・文化・景観・食などの資源や都市機能、都市ストックを有機的に活用しながら市民同士あるいは観光客との交流人口を増加させ、中心市街地の活性化を図る。

1. にぎわいあふれる商業のまち
2. 訪ねて楽しい観光のまち
3. 市民が集う交流のまち

課題・背景

- 長引く地域経済の低迷や東日本大震災の影響を受け、中心商店街の活性化に至っていない。
- 観光施設間や拠点エリア間の回遊性が十分ではない。
- 人口・世帯数の減少で地域活力が減退しており、将来的に持続可能な賑わい創出と活力あるまちづくりを図る。
- 酒田駅周辺地区や山居倉庫周辺地区の低・未利用地について、都市機能としての魅力向上が課題。

計画の概要

事業主体 : 酒田市
 面積 : 116.3ha
 事業期間 : H27~H31
 事業費 : 762 百万円

- 中町モールを中心に周辺都市機能を繋ぎ合わせ、魅力ある都市空間を再構築
- 山居倉庫周辺エリアをキーとした拠点エリア間の連携強化を検討
- 懸案となっている事業や新たに浮上している課題への対応

目標指標

- 中心商店街の活性化 : 「歩行者・自転車通行量」「商店街空き店舗数」
- 街なか観光の推進 : 「観光施設入込数」
- 街なか交流人口の増進 : 「公共・公益施設利用者数」

